

ウインタミン細粒(10%)

【この薬は？】

販売名	ウインタミン細粒(10%) Wintermin Fine Granules (10%)
一般名	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩 Chlorpromazine Phenolphthalinate
含有量 (1g 中)	180mg (クロルプロマジン塩酸塩として 100mg に相当)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。
統合失調症、躁病、神経症における不安・緊張・抑うつ、悪心・嘔吐、吃逆、破傷風に伴う痙攣、麻酔前投薬、人工冬眠、催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強
- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・昏睡状態の人、循環虚脱状態にある人
- ・バルビツール酸誘導体や麻酔剤などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人

- ・アドレナリン（ボスミン）を使用している人（アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）
 - ・フェノチアジン系化合物およびその類似化合物で過敏症のあった人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
- ・皮質下部の脳障害（脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症など）の疑いのある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
- ・肝臓に障害のある人、または血液障害のある人
 - ・褐色細胞腫、動脈硬化症あるいは心臓に障害の疑いのある人
 - ・重い喘息、肺気腫、呼吸器感染症などのある人
 - ・てんかんなどのけいれんをおこす病気のある人、または過去にてんかんなどのけいれんがあった人
 - ・幼児、小児
 - ・高齢の人
 - ・高温環境下にある人
 - ・脱水の人や栄養状態の悪い人
- この薬には併用してはいけない薬 [アドレナリン（アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）（ボスミン）] や、併用を注意すべき薬、接触しないよう注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの年齢、疾患や症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の飲む量および飲む回数は、次のとおりです。

【精神科領域以外の場合】

一日量	クロルプロマジン塩酸塩として 30～100mg
飲む回数	一日量を医師が決めた回数に分けて飲みます。

【精神科領域の場合】

一日量	クロルプロマジン塩酸塩として 50～450mg
飲む回数	一日量を医師が決めた回数に分けて飲みます。

（参考）小児の飲む量および飲む回数は、次のとおりです。

一回量	クロルプロマジン塩酸塩として 体重 1kg あたり 0.5～1mg
飲む回数	一日に 3～4 回飲みます。

- ・発達段階や症状の程度により飲む量は異なり、個人差があります。
- ・生後 6 ヶ月未満の乳児への使用は避けることが望ましいとされています。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分をすぐに飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（眠気でぼんやりする）、昏睡、血圧降下、錐体外路症状（動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり）、激越（落ち着きがない、感情が激しくたかぶる）と情緒不安、けいれん、口渇、腸閉塞（嘔吐（おうと）、むかむかする、激しい腹痛、排便・排ガスの停止）、心電図変化および不整脈などがあらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合には、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作を行わないでください。
- ・抗精神病薬を飲んでいる人には、肺塞栓症（突然の息切れ）、静脈血栓症（下肢のむくみ・痛み）などが報告されています。長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人は特にこれらの症状に注意してください。
- ・治療初期に起立性低血圧が起こることがあるので、立ちくらみやめまいなどの症状があらわれたら、医師に連絡してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
Syndrome malin（悪性症候群） シンドローム マリン（あくせいしょうこうぐん）	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
突然死 とつぜんし	突然死
心室頻拍 しんしつひんぱく	息切れ、動悸（どうき）、脈が速くなる
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上るときの動悸や息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい

重大な副作用	主な自覚症状
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだのだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意志に反して体が動く
遅発性ジストニア ちはつせいジストニア	からだが意志に反して動く、手足が意志に反して動く
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん (エスアイエーディーエイチ)	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振
眼障害 がんしょうがい	物が見えにくい、眼のかすみ、視力の低下
SLE 様症状 エスエルイーようしょうじょう	からだのだるい、関節の痛み、発熱、顔に蝶型の赤い斑点
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだのだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
肺塞栓症 はいそくせんしょう	突然の息切れ、胸の痛み、血を吐く
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	手足の爪が青紫色～暗紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛みとはれ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだのだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、発熱、意志に反して体が動く、けいれん、関節の痛み、脱力感、からだが意志に反して動く
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、めまい、頭が重い、意識の低下、頭痛
顔面	鼻血、顔に蝶型の赤い斑点
眼	白目が黄色くなる、物が見えにくい、眼のかすみ、視力の低下
口や喉	飲み込みにくい、歯ぐきの出血、のどの痛み、吐き気、嘔吐、

部位	自覚症状
	意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き
胸部	息切れ、動悸、階段や坂を上るときの動悸や息切れ、動く時の動悸や息切れ、吐き気、胸の痛み
腹部	激しい腹痛、食欲不振、吐き気、腹がはる
手・足	脈が速くなる、手足が意志に反して動く、関節の痛み、手足のしびれ、手足のこわばり、下肢の痛みとはれ、下肢のむくみ、手足の爪が青紫色～暗紫色になる
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、かゆみ
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
便	便がでない
尿	褐色尿、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿が赤褐色になる
その他	突然死、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

性状	<p>白色の細粒剤</p> 
----	---

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、メチルセルロース、含水二酸化ケイ素

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：塩野義製薬株式会社

販売会社：共和薬品工業株式会社

([http:// www.kyowayakuhin. co. jp/](http://www.kyowayakuhin.co.jp/))

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時45分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)